

第12回

'01選抜女子駅伝 北九州大会

- 期 日 / 2001年1月21日 (日)
- コース / 小倉北区・小倉城歴史の道一
八幡西区・北九州プリンスホテル折り返し
折り返し 32.8km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

□ 順位

一般・大学の部

- 1 沖電気宮崎(宮崎) 1° 45'53"
- 2 デオデオ(広島) 1° 47'14"
- 3 天満屋(岡山) 1° 47'32"
- 4 サニックス(福岡) 1° 48'07"
- 5 富士銀行(東京) 1° 49'07"
- 6 九電工(福岡) 1° 49'24"
- 7 TOTO(福岡) 1° 50'04"
- 8 十八銀行(長崎) 1° 50'20"
- 9 資生堂(東京) 1° 51'04"
- 10 京都産業大学(京都) 1° 52'28"
- 11 ベスト電器(福岡) 1° 54'46"

区 間 賞

- 第1区(4.2km) 山崎智恵子(天満屋) 13'58"
第2区(5.9km) 鈴木由美子(富士銀行) 19'13"
第3区(5.1km) 疋田みゆき(沖電気宮崎) 16'29"
第4区(5.9km) 宮崎 陽子(沖電気宮崎) 19'30"
第5区(11.7km) 川上 優子(沖電気宮崎) ★36'40"
★は区間新

高校の部

- 1 諫早(長崎) 1° 48'32"
- 2 柳川(福岡) 1° 50'03"
- 3 戸畑商業(福岡) 1° 50'22"
- 4 神村学園(鹿児島) 1° 51'22"
- 5 米子商業(鳥取) 1° 51'34"
- 6 西京(山口) 1° 52'43"
- 7 九州国際大付(福岡) 1° 53'28"
- 8 山田(高知) 1° 53'43"
- 9 興譲館(岡山) 1° 55'08"
- 10 鶴崎工業(大分) 1° 55'50"
- 11 明善(香川) 1° 56'43"
- 12 如水館(広島) 1° 57'48"
- 13 松山商業(愛媛) 1° 58'30"
- 14 北九州市選抜(福岡) 1° 58'38"
- 15 美馬商業(徳島) 2° 03'20"
- 16 豊見城南(沖縄) 2° 03'22"
- 17 竹田(大分) 2° 05'44"

区 間 賞

- 第1区(4.2km) 奥永 美香(鶴崎工) 13'58"
第2区(5.9km) 松元 美香(諫早) 19'22"
第3区(5.1km) 古賀 裕美(柳川) 16'42"
第4区(5.9km) 吉本乃梨子(諫早) 20'11"
第5区(4.9km) 土谷 淳子(戸畑商) 16'16"
第6区(6.8km) 大渡 泰子(諫早) 20'54"



3年ぶり6回目の優勝を飾った沖電気宮崎のアンカー川上優子

一般・大学の部

岡本で逆転 沖電気宮崎が6回目の優勝 エースの川上も区間新

沖電気宮崎は2区の岡本幸子が天満屋を逆転してトップに立つと、その後の3区間をいずれも区間賞の快走。前年暮れの全日本実業団駅伝3位の実力を見せつけ、独走で3年ぶり6回目の優勝を果たした。

沖電気は1区の久家悦子がトップと1秒差の2位でタスキをつなぎ、2区の岡本が中間点過ぎの長い上り坂を利用して抜け出した。3区の疋田みゆき、4区の宮崎陽子も順調に貯金を増やし、最終5区ではエースの川上優子が区間新を出す余裕のリレーで2位のデオデオに1分21秒差をつけてゴールした。

デオデオは中盤で精彩を欠き、アンカー小鳥田貴子を生かせなかった。天満屋は1区・山崎智恵子の区間賞で流れを作って3位。序盤に出遅れたサニックスは4位、前回優勝の九電工は6位に終わった。

岡本幸子・沖電気宮崎2区 「全日本実業団駅伝で3位に終わり、この大会で負けると来季もズルズルいきそうな気がした」

小鳥田貴子・デオデオ5区 「後半、川上(優子)さんと差が開いていくのが分かった。でも、川上さんと同じ区間を走って勉強になった。これからはトラックの記録を伸ばしたい」

高校の部

区間賞3つ 諫早が3連覇 2区の松元“裸足”で奪首

諫早が3区間で区間賞を奪い、全国高校駅伝で3年連続3位の実力を見せて3連覇を果たした。

1区は鶴崎工の奥永美香が社会人トップと同タイムの力走。優勝候補の諫早、戸畑商が2秒差で続いた。

2区に入ると鶴崎工は後退し、諫早、戸畑商の競り合いに。諫早の松元美香は300m地点で右足のシューズが脱げ落ちたが、そのまま5.6kmを走り抜き、戸畑商を逆転。2位に上がった柳川に17秒差をつけた。

諫早は4区の吉本乃梨子、6区の大渡泰子も区間賞を獲得する万全の走り。そのまま3連覇のゴールテープを切った。

全員が安定した力を発揮した柳川が過去最高の2位。戸畑商はエース・中山多美子の不調が響いて3位に終わった。

松元美香・諫早2区 「中継所に並んでいた時に右足を踏まれ、走り出して100mほど走ってから、かかとがシューズに入っていないことが分かった。履き直していたら遅れると思い、そのまま走った。さらに200mぐらい走って、脱げそうだったので、もういいやと思って、脱げるままにまかせた」

松元利弘・諫早監督 「シューズを拾って監察車から松元(美香)に『靴を履け』と声をかけたが、松元は受け取らなかった。普通なら精神的にめげてしまうのによく最後まで頑張った。私も感動したし、部員みんながそう感じてくれたと思う」



右足のシューズが脱げながら力走した諫早の松元美香